【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2017-22550(P2017-22550A)
【公開日】平成29年1月26日(2017.1.26)
【年通号数】公開・登録公報2017-004
【出願番号】特願2015-138414(P2015-138414)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　52/02　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　84/12　(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ　52/02　１１０
Ｈ０４Ｗ　84/12

【手続補正書】
【提出日】平成30年3月5日(2018.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無線中継装置と無線通信を行う無線通信端末であって、
無線中継装置との間で送信または受信されるデータの種類を解析し解析情報を生成する解析部と、
前記解析情報を受け取り、特定の種類のデータであるか否かの判断を行い、前記データのすべての送信または受信が完了したのち、前記判断の結果に応じて、互いに異なる待機時間の経過後にスリープ状態に遷移するよう制御部に指示通知する状態判断部と、
前記状態判断部からの通知に従って無線通信端末自身をスリープ状態に遷移させる制御部とを備える無線通信端末。
【請求項２】
前記互いに異なる待機時間は、第１の待機時間と、これより小なる第２の待機時間であり、前記解析部が解析したデータが前記特定の種類のデータである場合は、前記待機時間は第１の待機時間とし、解析部が解析したデータが前記特定の種類のデータでない場合は、第２の待機時間とする請求項１に記載の無線通信端末。
【請求項３】
前記状態判断部は、新たな送受信すべきデータの通信が第２の待機時間の到来前に開始され、当該データが前記特定の種類のデータによるものである場合には、時間カウントをクリアし当該データの通信が完了したのち再び時間カウントを行い、第１の待機時間までアウェイク状態を維持するように前記制御部に通知する請求項１または２に記載の無線通信端末。
【請求項４】
前記特定の種類のデータは、予め設定された特定プロトコルによるものである請求項１～３のいずれか１項に記載の無線通信端末。
【請求項５】
前記特定の種類のデータは、無線通信端末自身と任意の端末との間でコネクションを確立したのち通信を開始する種類のものである請求項１～４のいずれか１項に記載の無線通信端末。

【請求項６】
前記特定の種類は、無線通信端末自身の上位レイヤーからの指示に基づいて決定される請求項１～５のいずれか１項に記載の無線通信端末。